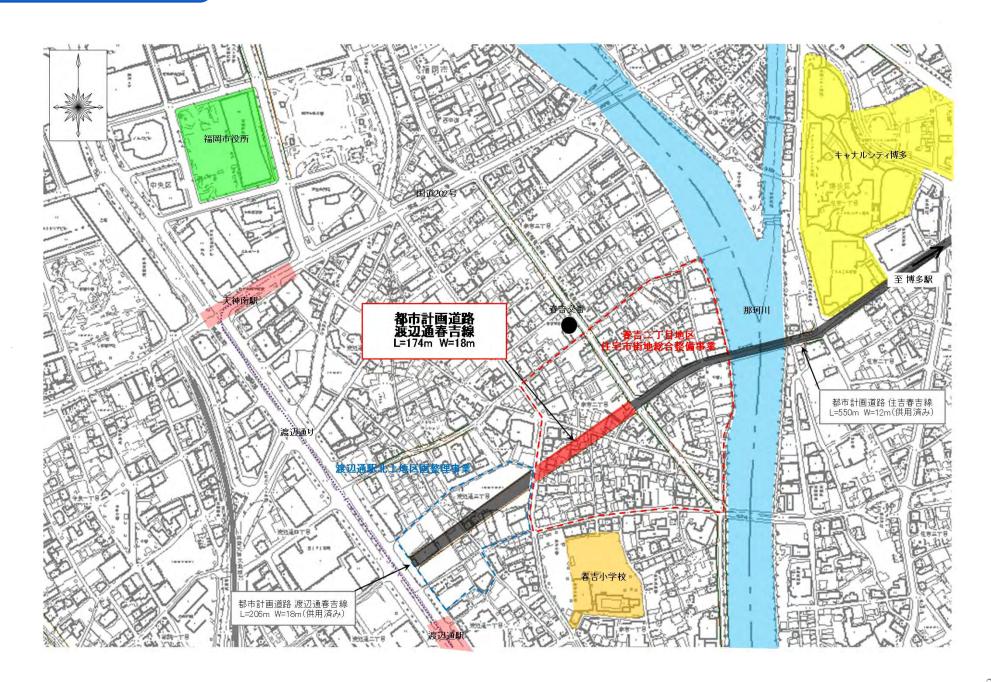
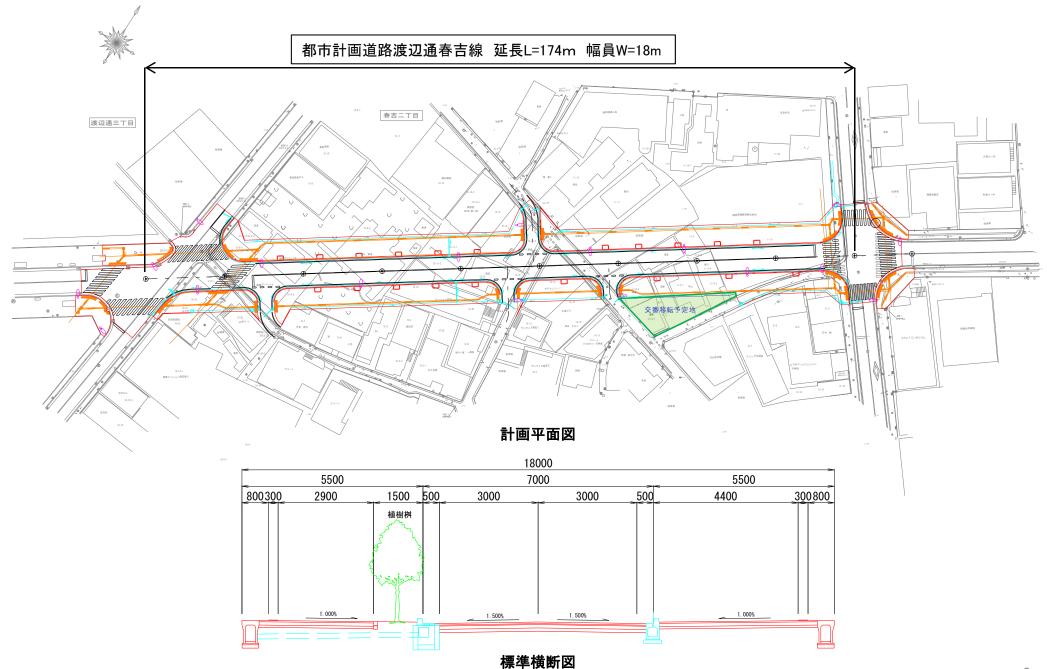
第30回 全国街路事業コンクール応募資料

ふりがな		ふくおかしどうろげすいどうきょく	
応募者名		福岡市道路下水道局	
街路事業	ふりがな	としけいかくどうろわたなべどおりはるよしせんせいびじぎょう	
	事業の名称	都市計画道路渡辺通春吉線整備事業	
	ふりがな	ふくおかし	
	事業主体	福岡市	
	ふりがな	ふくおかし	
	実施都市名	福岡市	
事業概要 (400字以内)		福岡市の中心部に位置している春吉二丁目地区は、戦災を免れたため土地区画整理事業が実施されなかったことから、都市基盤が 脆弱で狭小敷地や未整備細街路が多い。このため建物の機能更新が進まず老朽木造住宅が多く残っており、大規模地震時の延焼危険 度や倒壊出火の危険性が高いなど、防災上や住環境上の課題を抱えている。そのため、安全・安心・快適な住宅市街地の形成や利便性 の高い潤いのある居住・生活環境を確保等を図るため、街路、道路、老朽建築物等の除却、建替促進を行うものである。	
事業規模		〇事業延長:174m	〇幅員:18m
		○事業費:約26億円	〇事業期間:平成21年度~平成28年度
事業の目的		春吉二丁目地区内の生活道路には周辺幹線道路から渋滞回避の車両が流入しており、地区周辺での交通渋滞の発生や、歩行者が 安心して歩けない状況となっているため、地区利便性及び安全性の向上を図る。 また、東西の周辺地区とのネットワーク機能強化を図り、密集住宅市街地における延焼遮断帯として機能させる。	
事業効果(効果一覧を参考に具体的な効果を記入)		・都心部の新たな交通ネットワークの形成 ・安全・安心・快適な歩行空間の確保 ・春吉交番移転による安全面の強化	
地元対応等	・地域住民との協働等 ・地域住民との協働等 ・事業反対等はあったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点 ・地域に配慮した点 ・本事業は、平成20年2月に関係町内会長など地域の代表者からなる「渡辺通・春吉線推進協議会」から、隣接する渡辺通駅北土地区 整理事業の完成が迫った中で、生活道路への通過交通流入による交通渋滞や事故の発生など、安全面における生活環境の悪化を懸念して早期事業化の要望を受け事業を実施している。 ・平成28年12月20日の供用開始の際には、「渡辺通・春吉線推進協議会」の代表の方にテープカットを依頼し、また地域の小学校も参加 和太鼓クラブによる記念演奏を行うなど、地域と一体となった開通式を行った。		

事業位置図



全体図(平面図・横断図)



事業前写真

平成17年度撮影



平成20年度撮影



平成20年度撮影



事業後写真

平成29年11月撮影



平成29年11月撮影



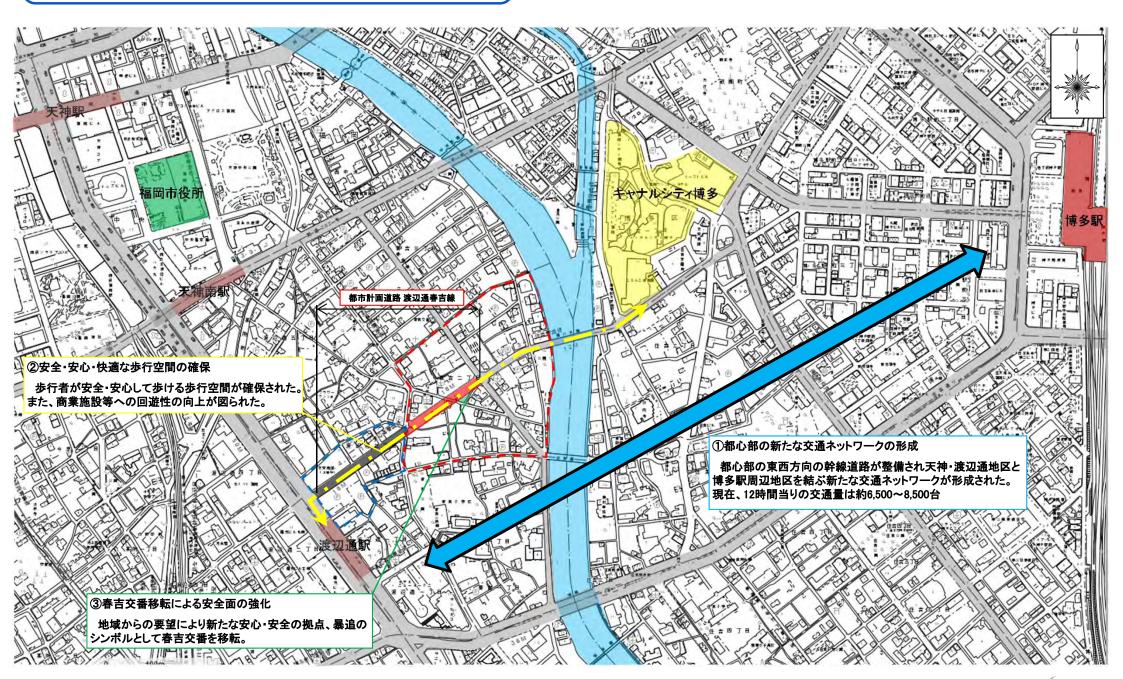
平成29年11月撮影



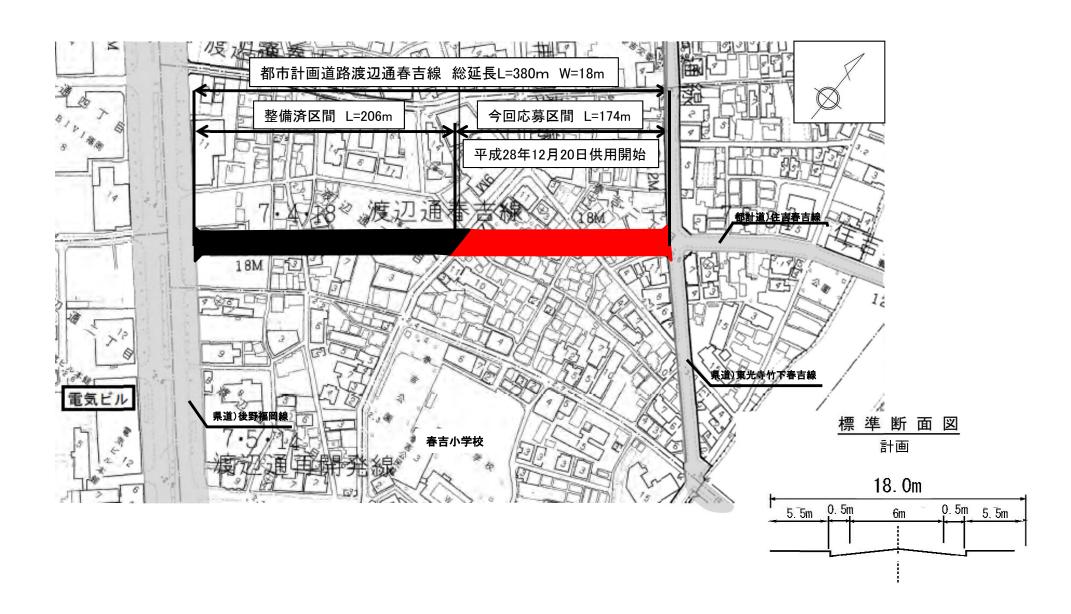
平成28年12月撮影



渡辺通春吉線の事業効果アピール資料



路線全体の進捗状況



都市計画図

